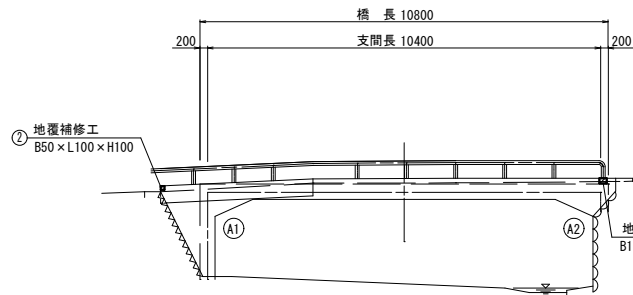
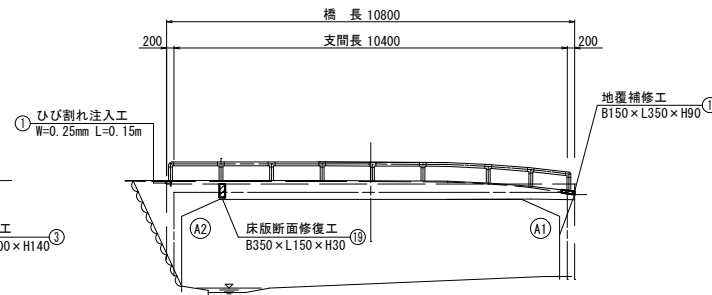


前村3号橋 修繕工一般図

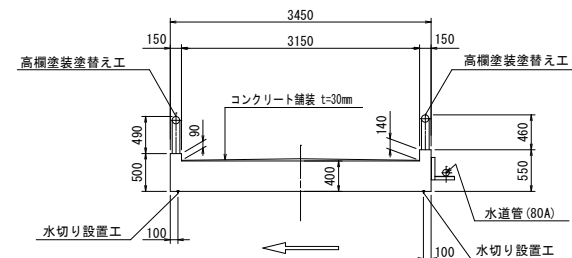
側面図(上流側)
S=1:100



側面図(下流側)
S=1:100



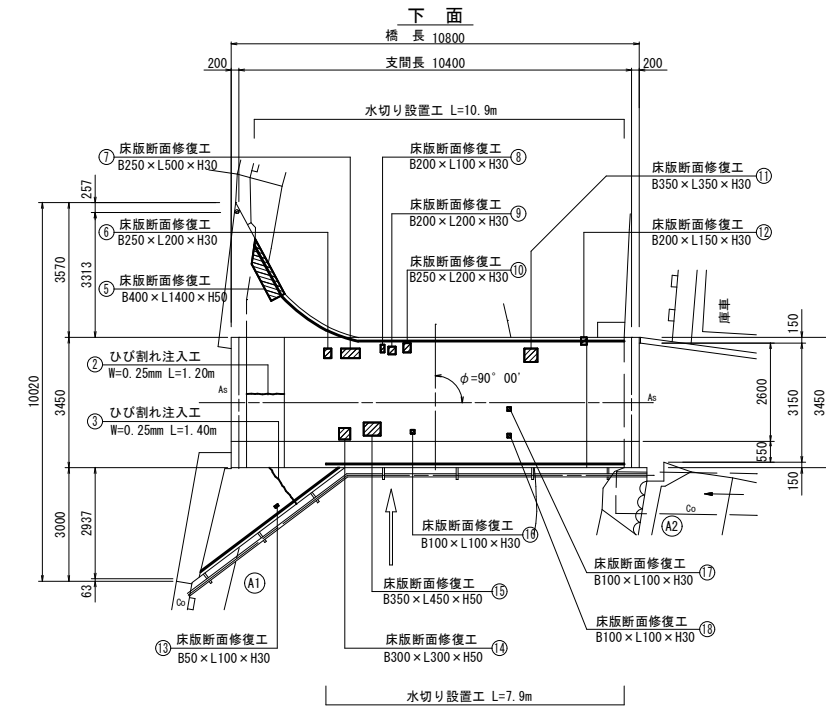
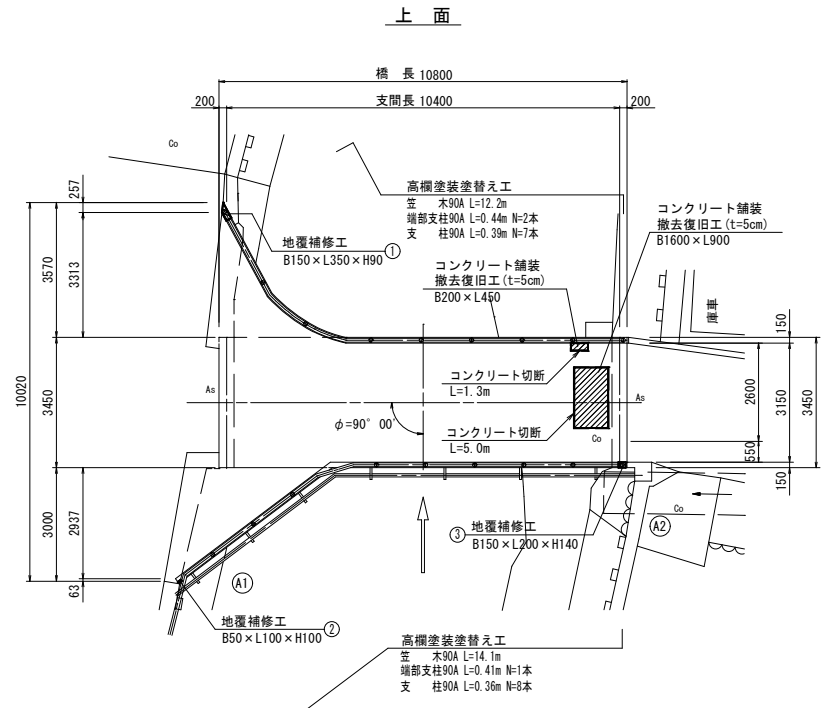
断面図
S=1:50



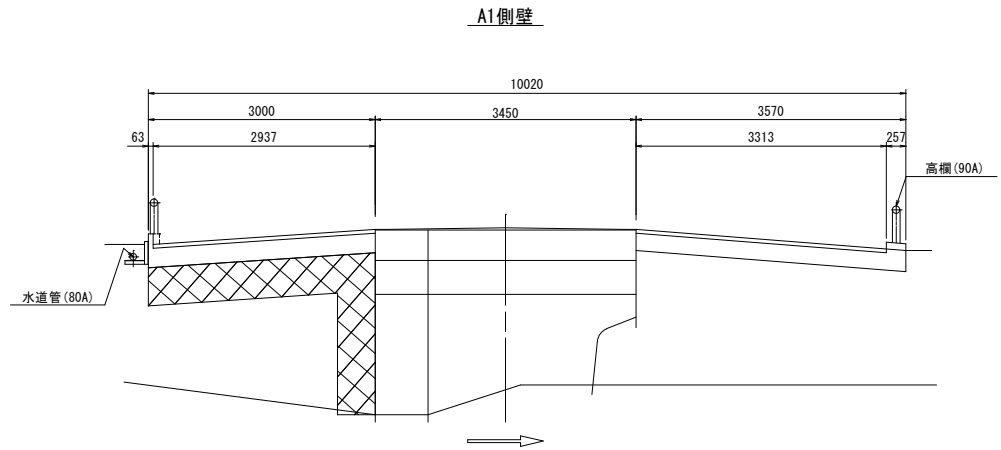
設計条件

橋格	-
上部工形式	RC門型ラーメン橋
橋長	10,800m
桁長	-
支間長	10,400m
全幅員	3,450m
有効幅員	3,150m
斜角	90° 00'
床版	頂版 H=400mm
舗装	コンクリート舗装
支承	-
橋台	-
基礎	直接基礎

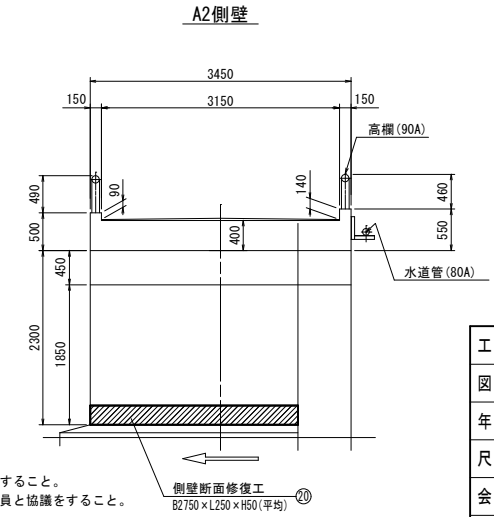
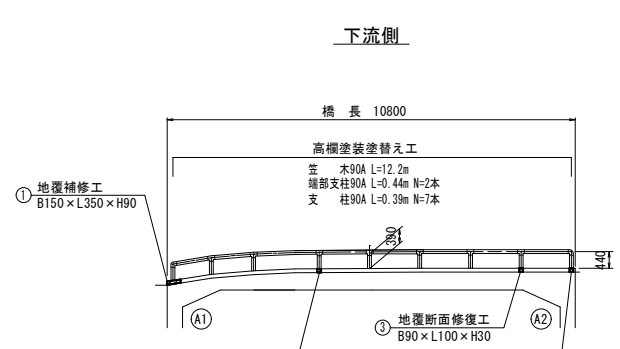
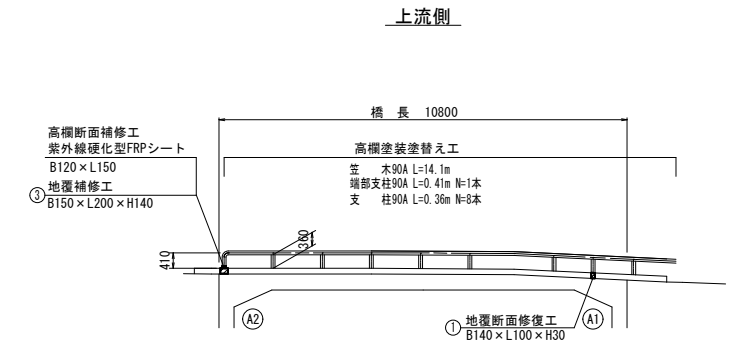
平面図
S=1:100



正面図
S=1:50



地覆正面図
S=1:100



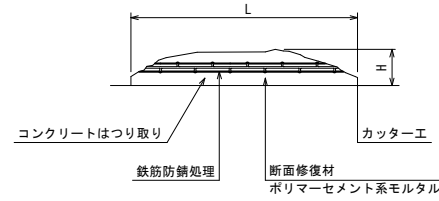
※地覆断面修復工①～④において、高欄支柱面より30mm程度のかぶり確保すること

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 前村3号橋外3橋 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工一般図(前村3号橋)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	3 葉之内 1
会社名			
事務所名	多気町		

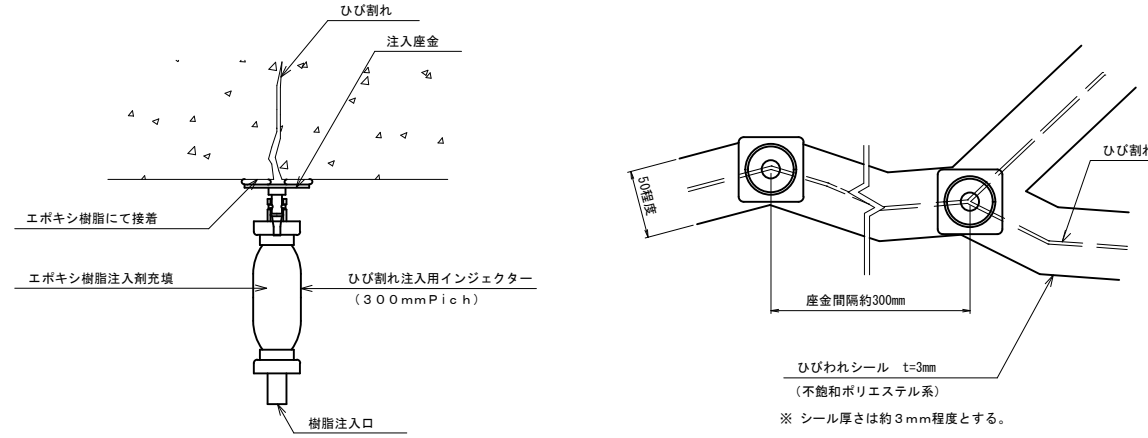
修繕工詳細図

断面修復工詳細図



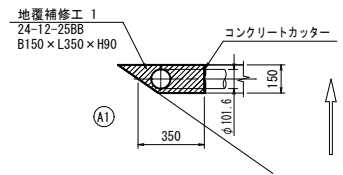
※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
 ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
 ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いをし下地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

ひび割れ注入工詳細図

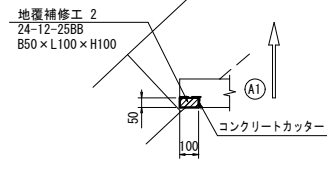


地覆補修工詳細図

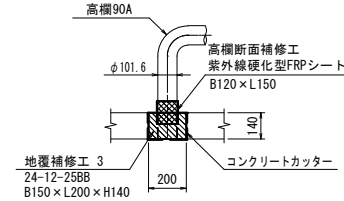
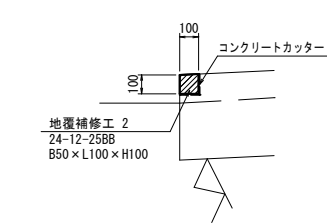
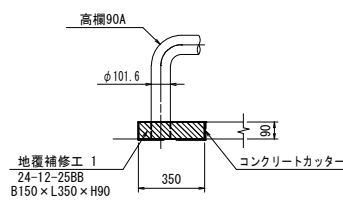
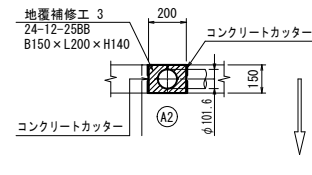
地覆補修工 ① (左岸下流側地覆) S=1:20



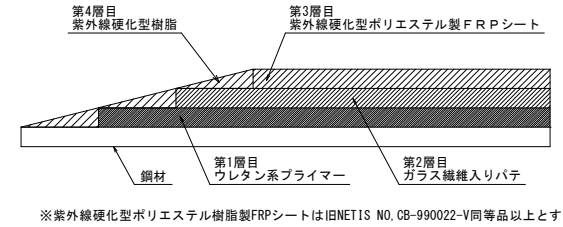
地覆補修工 ② (左岸上流側地覆) S=1:20



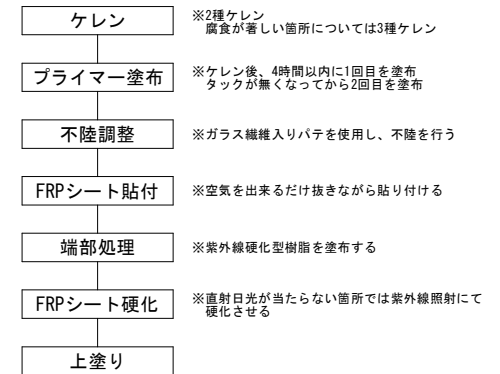
地覆補修工 ③ (右岸上流側地覆) S=1:20



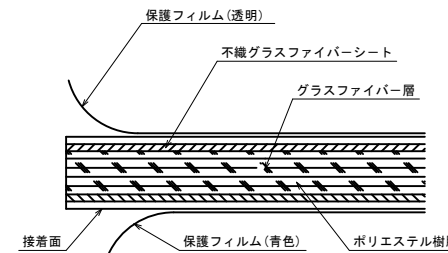
FRPシート設置工 断面図



FRPシート設置工 フロー図



FRPシート内部構造



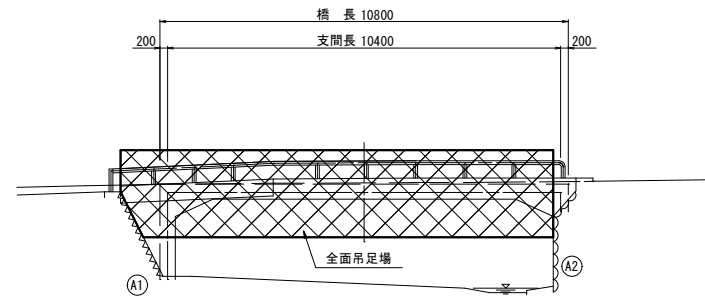
注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
 2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
 2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

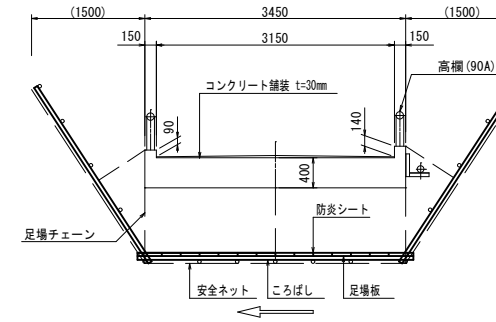
工事名	令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 前村3号橋外3橋 橋梁修繕工事
図面名	修繕工詳細図(前村3号橋)
年月日	
尺度	図示 図面番号 3 葉之内 2
会社名	
事務所名	多気町

仮設足場工 参考図

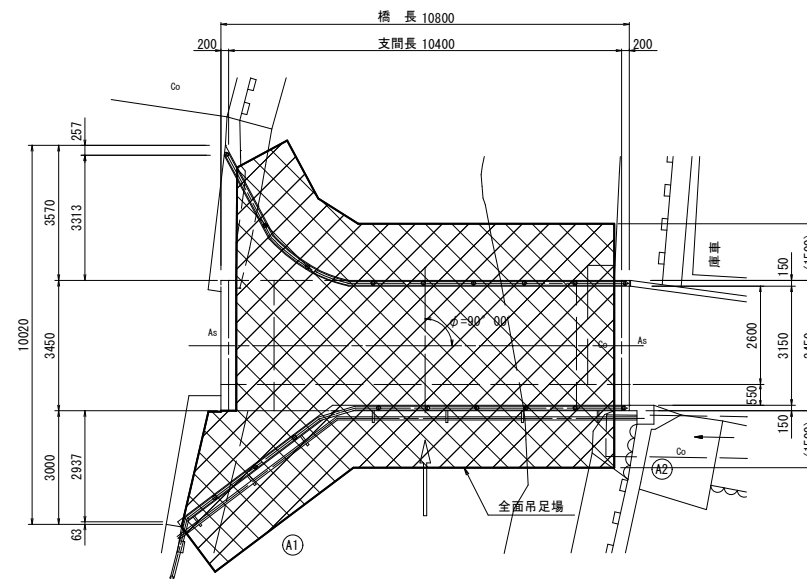
側面図
S=1:100



断面図
S=1:50



平面図
S=1:100

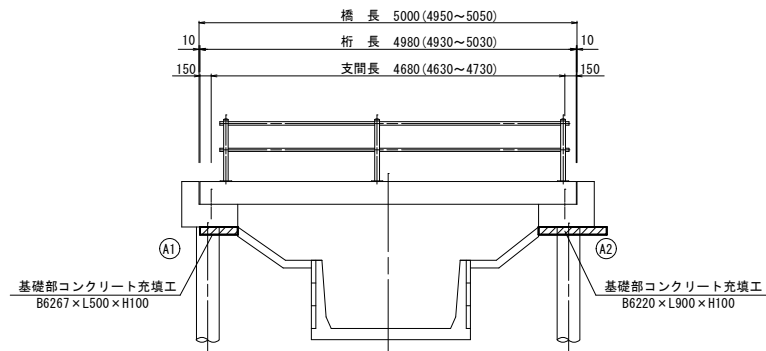


工事名	令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 前村3号橋外3橋 橋梁修繕工事		
図面名	仮設足場工 参考図(前村3号橋)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	3 葉之内 3
会社名			
事務所名	多 気 町		

笠木3号橋 修繕工一般図

側面図

S=1:50



断面図

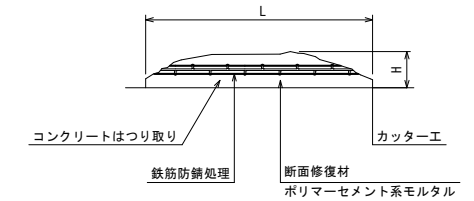
S=1:50



設計条件

項目	内容
上部工形式	単純RC床版
荷重	-
橋長	5.000m (4.950m~5.050m)
桁長	4.980m (4.930m~5.030m)
支間長	4.680m (4.630m~4.730m)
全幅員	5.500m
有効幅員	5.000m
斜角	61° 21' (左岸) 62° 10' (右岸)
床版	鉄筋コンクリート床版 t=300mm
舗装	-
支承	エラストイト
橋台	-
基礎	杭基礎

断面修復工詳細図

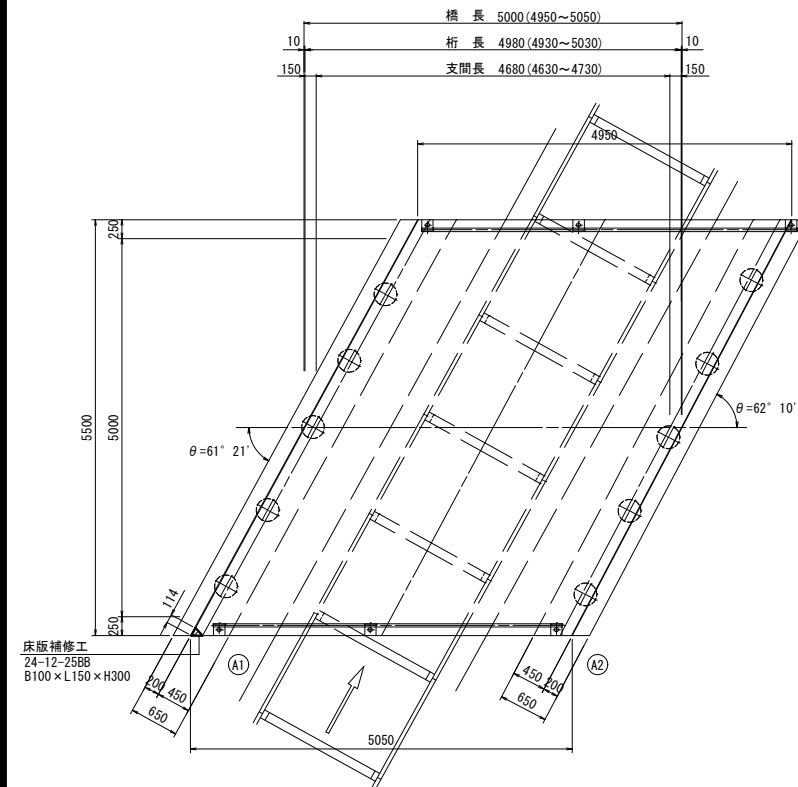


※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
 ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
 ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

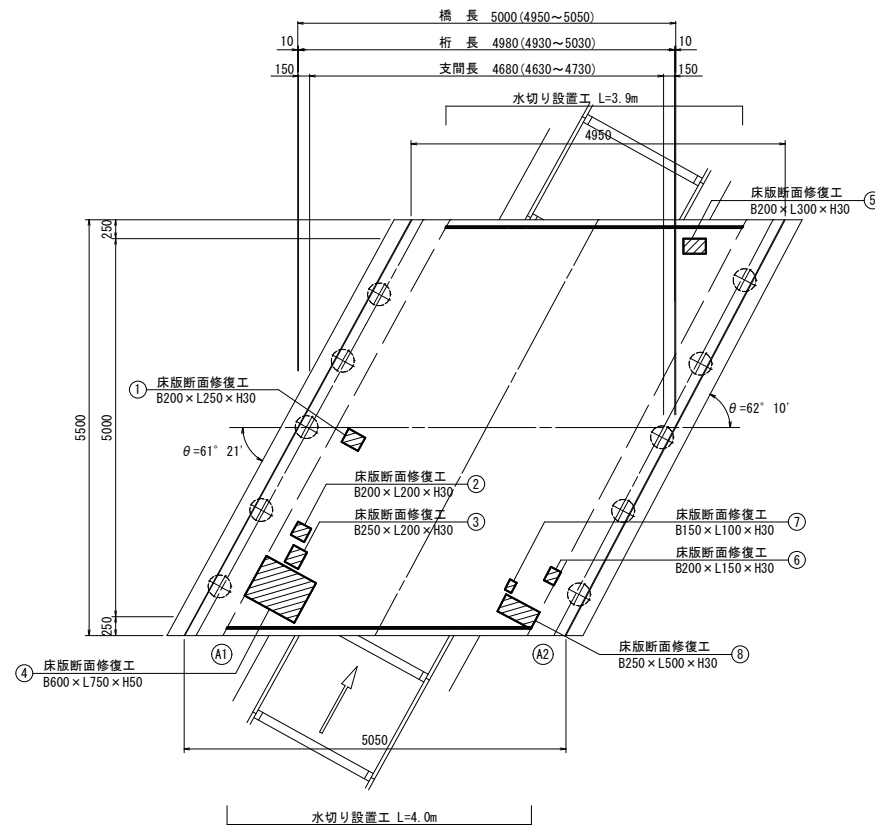
平面図

S=1:50

上面

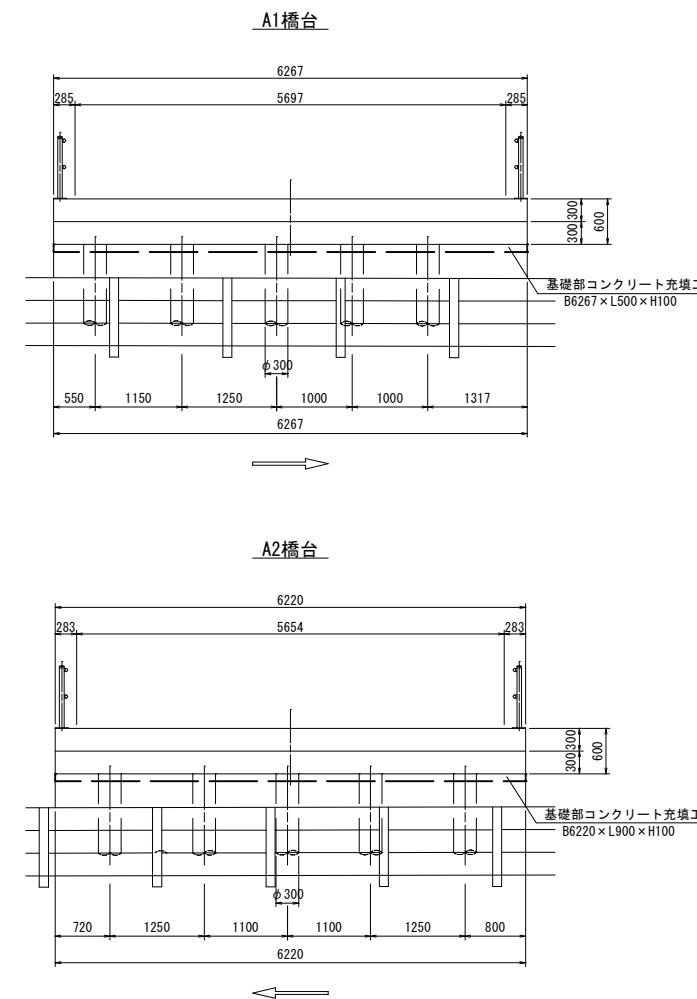


下面



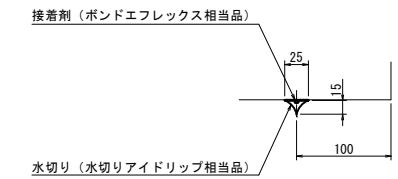
正面図

S=1:50



水切り設置工詳細図

S=1:4

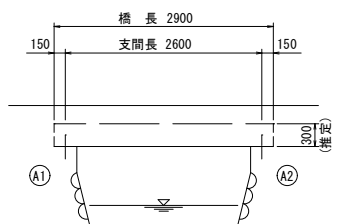


注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

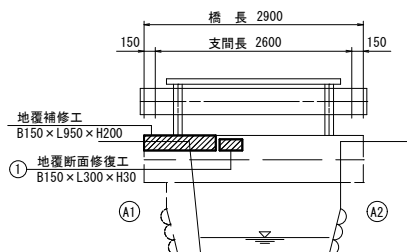
工事名	令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 前村3号橋外3橋 橋梁修繕工事
図面名	修繕工一般図(笠木3号橋)
年月日	
尺度	図示 図面番号 1 葉之内 1
会社名	
事務所名	多気町

無名橋(橋梁番号_3004) 修繕工一般図

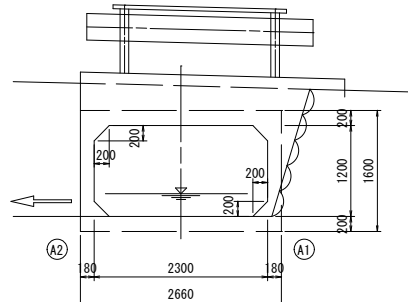
側面図
S=1:50



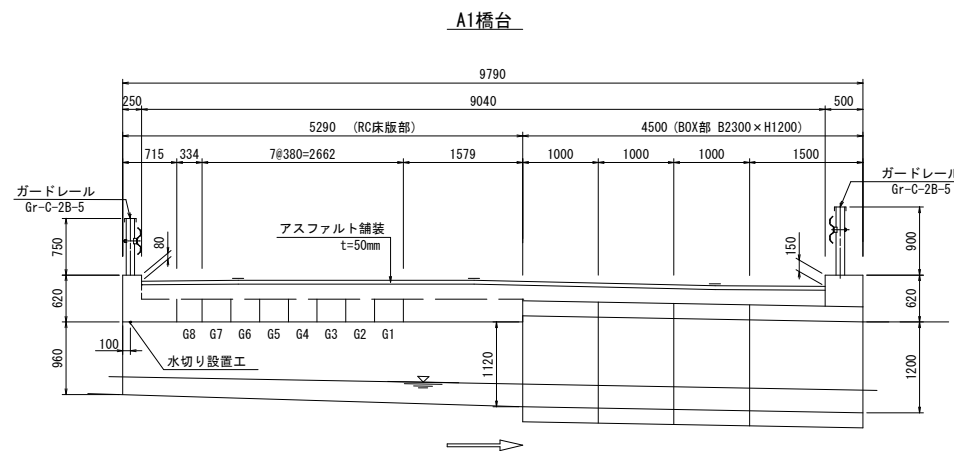
側面図
(上流側)
S=1:50



側面図
(下流側)
S=1:50

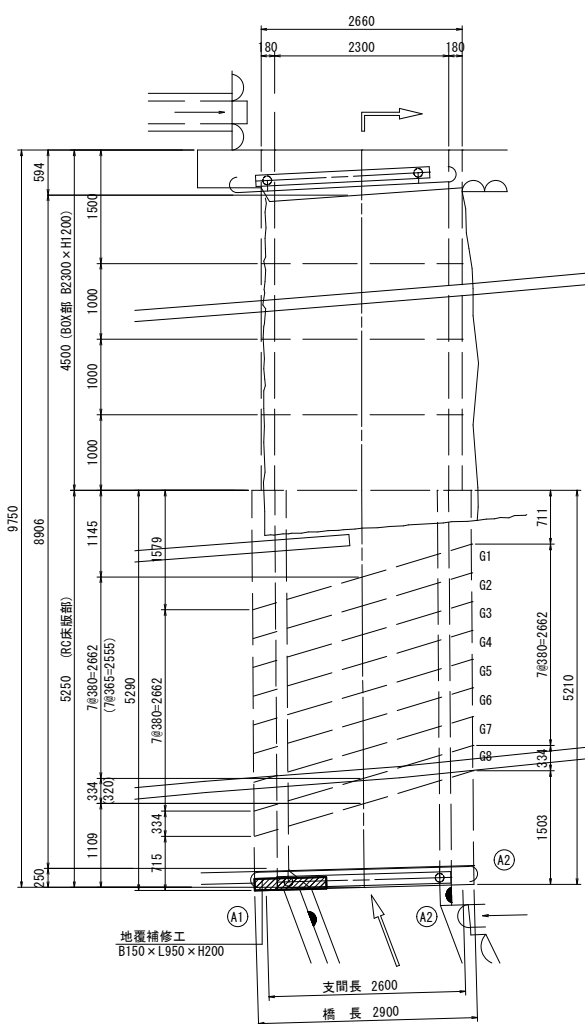


正面図
S=1:50

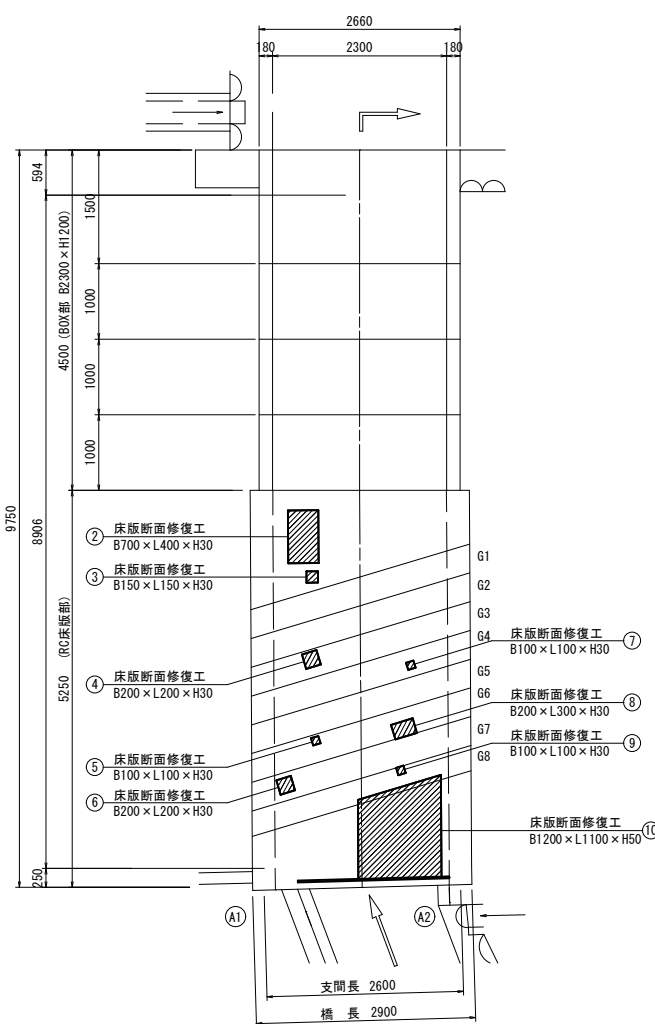


平面図
S=1:50

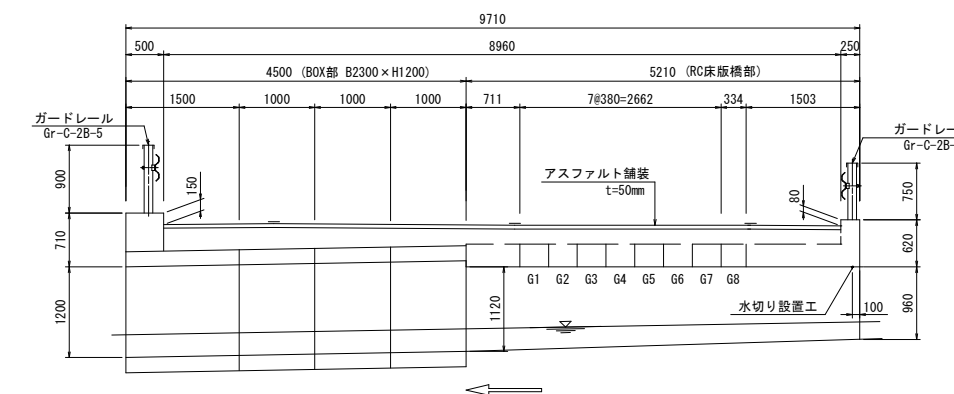
上面



下面



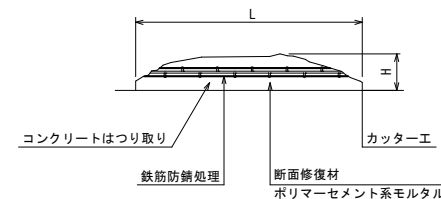
A2橋台



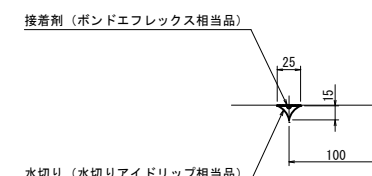
設計条件

上部工形式	単独RC床版(上流部)+ボックスカルバート(下流部)
荷重	-
橋長	2.900m(上流部) 2.660m(下流部)
桁長	2.900m
支間長	2.600m
BOX部	B2300 x H1200
BOX延長	4.500m
全幅員	9.750m
有効幅員	8.906m
斜角	90° 00'
床版	t=300(推定)
舗装	アスファルト舗装 t=50mm
支承	-
基礎	石積

断面修復工詳細図



水切り設置工詳細図



- ※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

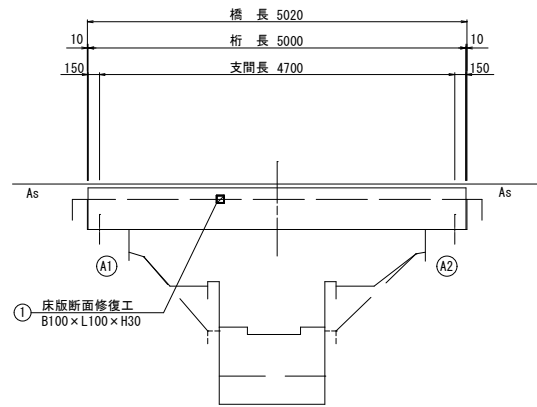
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

※ 0 内は直寸法を示す。

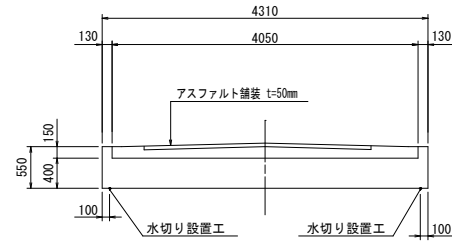
工事名	令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 前村3号橋外3橋 橋梁修繕工事
図面名	修繕工一般図(無名橋3004)
年月日	
尺度	図示 図面番号 1 葉之内 1
会社名	
事務所名	多気町

西池上3号橋 修繕工一般図

側面図 S=1:50



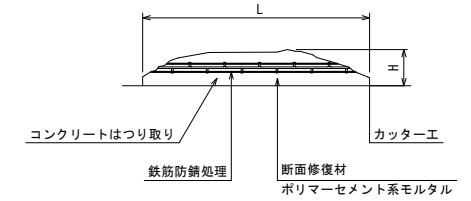
断面図 S=1:50



設計条件

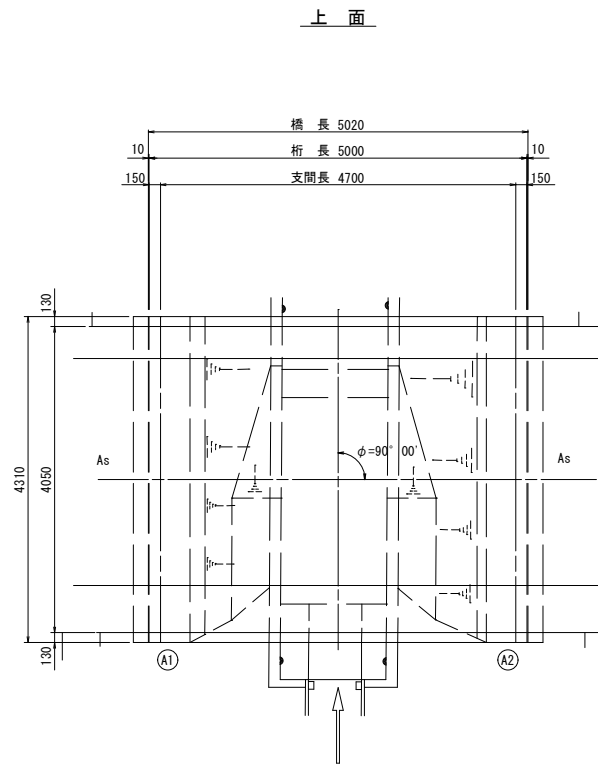
上部工形式	単純RC床版
荷重	-
橋長	5.020m
桁長	5.000m
支間長	4.700m
全幅員	4.310m
有効幅員	4.050m
斜角	90° 00'
床版	鉄筋コンクリート床版 t=400mm
舗装	アスファルト舗装 t=50mm
支承	-
橋台	-
基礎	杭基礎

断面修復工詳細図

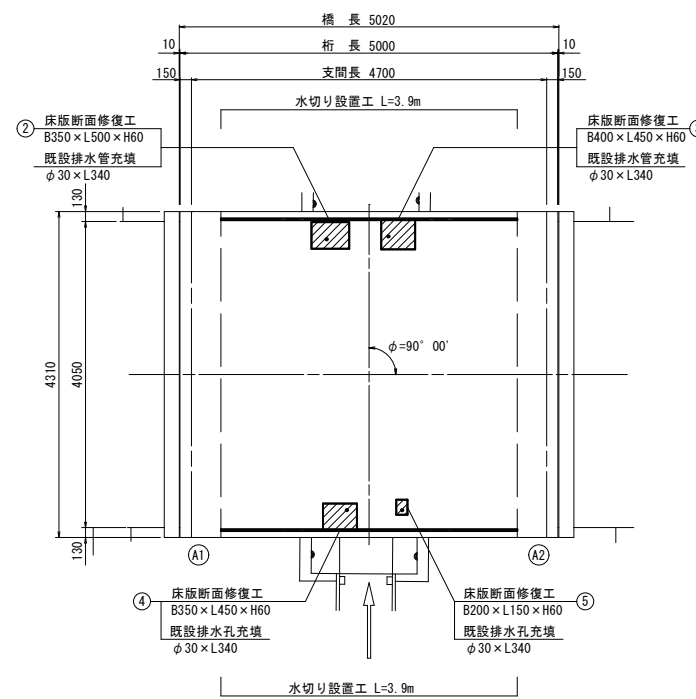


※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
 なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
 ※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
 ※ 鉄筋防錆処理について
 カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
 防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

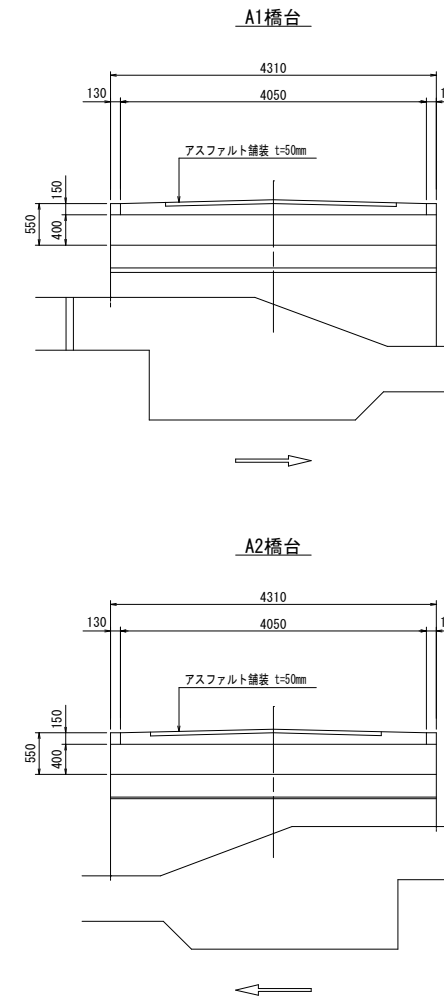
平面図 S=1:50



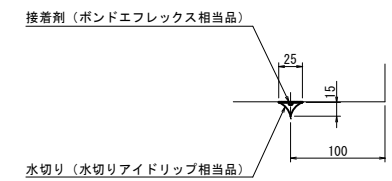
下面



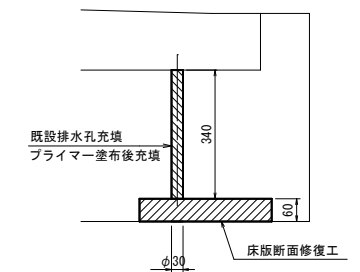
正面図 S=1:4



水切り設置工詳細図 S=1:4



既設排水管充填工 S=1:10



注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 前村3号橋外3橋 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工一般図(西池上3号橋)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	1 葉之内 1
会社名			
事務所名	多気町		